

環境経済部

組織目標



環境経済部は、エコ・クリーン政策課・生活環境課・総合クリーンセンター・農業振興課・商工観光課で構成し、環境の保全、廃棄物の減量及び処理、入間市の元気の源となる農業及び自然保護、商工業及び観光、労政などの施策に取り組んでいます。

環境経済部の目標（令和6年度）	環境経済部長
【部の基本方向】 1 快適な市民生活が送れるよう、生活環境の保全や地球温暖化防止、廃棄物対策により、住みやすさが実感できるまちづくりを目指します。 2 誰もが元気に働くことのできる調和のとれた産業振興を図り、地域の特性を活かした農業と活気に満ちた商業や工業の発展を目指します。 3 入間市の知名度や好感度を向上させ、市民や来訪者が愛着を実感できる市を目指します。	
【部の重点方針】 1 ゼロカーボンシティの実現に向けた取り組みを加速化するとともに、安心して健康に暮らせる生活環境の維持と保全を図ります。 2 ごみの減量・資源化を徹底する事業を展開し、環境への負荷の少ない循環型社会を推進します。 3 狭山茶・地場農畜産物等の生産振興を図るとともに、地産地消の取り組みを推進します。 4 事業者支援や空き店舗活用を図るとともに、企業誘致や地域経済の活性化の取り組みを推進します。 5 茶畑などの地域資源の活用や地域ブランド認定の取り組みを進め、入間市の知名度や好感度の向上を図り観光振興に取り組めます	
【課の目標（達成すべき目標）】     【エコ・クリーン政策課】 1 「入間市地球温暖化対策実行計画」に基づき、省エネルギー対策や二酸化炭素排出量抑制に取り組めます。 ○ゼロカーボンシティ推進設備を設置した市民に補助金を交付します。 ・V2Hシステム：10件 ・太陽光発電システム：43件 ・定置用リチウムイオン蓄電池：33件 ○公共施設に太陽光発電設備を設置します。 ・設置数：5施設 ○本庁舎以外の公共施設に電気自動車（EV）を設置します。 ・電気自動車（EV）：1台	【目標の達成度合】 1 地球温暖化の原因となっている温室効果ガスの排出抑制に取り組みました。 ○ゼロカーボンシティ推進設備を設置した市民へ補助金を交付しました。 ・V2Hシステム：4件 ・太陽光発電システム：57件 ・定置用リチウムイオン蓄電池：45件 ○市内公共施設4箇所に太陽光発電設備を設置し、電気代を削減しました。 ○藤沢地区センターに環境負荷が少ない電気自動車（EV）1台を導入しました。なお、令和6年12月からシェアリングサービスを開始しました。

【生活環境課】



2 「第三次入間市環境基本計画」に基づき、単独処理浄化槽やくみ取り便槽から合併処理浄化槽への転換を推進するため、工事費用の一部を補助する等、生活排水による河川の水質汚濁防止に取り組みます。

- ・目標転換基数：22 基

【総合クリーンセンター】



3 ごみの減量・資源化を推進します。

- ・家庭系ごみの減量：年間 330 トン
- ・処分からリユースへの事業展開
- ・埋立処分から全量資源化への取組

【農業振興課】



4 おいしい狭山茶大好き条例に基づき、市の特産物である狭山茶の生産振興を推進するほか、「狭山茶の日」の周知を図ります。

- ・「狭山茶の日」PR イベント及び狭山茶店舗活性化事業の実施

2 補助制度の利用案内や周知について、市公式ホームページへの掲載や浄化槽清掃業者との連携によるチラシ配布等により、積極的に取り組みました。

しかしながら、浄化槽の大きさは、居住人数ではなく建物の延床面積に応じた規模で設置する必要があることから、全国的にも転換が進まない要因となっています。

このため、目標の基数は達成できなかったものの、新たに5基の転換を図ることができました。

- ・転換基数：5 基

3 ごみの減量・資源化施策の推進状況は以下の通りです。

- ・家庭系ごみの減量：年間 621 トン（2% 減）
- ・インターネットによるリユースプラットフォーム「おいくら」を運営する㈱マーケットエンタープライズと連携協定を締結し、家庭の不用品を廃棄物とすることなく、直接リユースへ繋げることによるごみ減量施策を開始しました。1 年間で買取依頼件数は 278 件、買取依頼商品数 673 点の家具や電化製品等が出品されました。
- ・焼却灰や焼却残渣等の一部資源化を実施し、令和 6 年度は焼却灰 918.04 t、焼却残渣 233.42 t、破碎残渣 96.46 t をリサイクルしました。

4 令和 6 年 6 月 2 日（日）の「狭山茶の日」に、博物館アリットを会場に各種イベントを開催して、狭山茶の日を PR しました。また、狭山茶店舗活性化事業「ご縁をつなごう！狭山茶新茶プレゼント」では、全国から多くの応募あり、当選者に市内のお茶屋さんを新茶と共に紹介することができ

5 農畜産物の地産地消の取り組みを推進するため、「ふれあいマルシェいるま」や「出張！入間のうまい市」等を開催します。

・合計開催回数：年間 10 回

【商工観光課】



6 地域課題の解決や賑わいのあるまちづくりのため、入間市商工会や商店街などを支援し、地域の活性化を目的に空き店舗活用に取り組みます。

・空き店舗活用創業等支援事業補助：新規 3 件

7 入間ゲートウェイ構想の一環として、市内 5 駅周辺の魅力スポットを発掘し、SNS にて発信することで、入間市の玄関口の魅力化による観光振興を図り、市内を周遊するきっかけづくりを図ります。

・SNS 投稿数：50 回

8 地域ブランドの振興とシティセールスを目的に、入間市の地域資源や特性を活かした魅力ある商品を入間ブランドとして認定し、市内の産業振興に寄与すると共に、観光事業によるシティセールスを図ります。

・入間ブランド認定商品件数：5 件

ました。

5 「ふれあいマルシェいるま」を 4 回、「出張！入間のうまい市」を 2 回開催しました。また、狭山茶の日記念イベントや健康福祉センターまつり等へも出店し、新鮮な農畜産物を直売することで、市民と生産者との交流や地産地消に取り組みました。

・合計開催回数：年間 9 回

6 商業の振興と商店街の活性化を図るために、入間市商工会等が実施するイベント、その他商業振興活動の事業に対し補助したほか、市内の空き店舗を活用して創業等する方に店舗改修費用や家賃の一部を補助しました。

・空き店舗活用創業支援事業補助：新規 6 件

7 市内 5 駅周辺の魅力アップを図るため、いるティーをガイド役に観光協会と連携して撮影スポットを取材し、お散歩コースを想定した SNS 投稿を行いました。

・SNS 投稿数：51 回

8 入間ブランド認定要綱に基づき、第一期の商品募集を行い 16 事業者 34 商品の応募があり、審査会を令和 7 年 3 月に開催しブランド認定を行いました。

・入間ブランド認定商品件数：34 商品